

國學院大學學術情報リポジトリ

彙報

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-10-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001053

彙報

平成二十九年度（所屬・役職は開催当時、敬称略）

▽研究開発推進センター研究事業

〈出張〉

- ・「霧島神宮関連資料の調査」、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、高野裕基（研究開発推進機構助教）、平成三十年二月二十六日（月）～二十八日（水）、鹿児島県鹿児島市（鹿児島県立図書館）、鹿児島県霧島市（霧島市国分図書館、霧島市国分郷土館）

報 彙

- ・「北海道神宮に関する調査」、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、大東敬明（研究開発推進機構准教授）、平成三十年三月五日（月）～六日（火）、北海道札幌市（北海道神宮）

- ・「霧島神宮関連資料の調査」、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、高野裕基（研究開発推進機構助教）、平成三十年三月二十二日（金）～二十四日（日）、鹿児島県鹿児島市（鹿児島県立図書館）

- ・「近代の神道及び神職・国学者に関する資料調査」、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、上西亘（研究開発推進機構助教）、平成三十年三月二十七日（火）

二十九日（木）、島根県松江市（島根県立図書館）

▽二十一世紀研究教育計画委員会研究事業「地域・渋谷から発信する共存社会の構築」

「共存学」グループ

〈シンポジウム〉

- ・平成二十九年度共存学・渋谷学合同シンポジウム「渋谷と東北から「世界」を視る―多様なつながりと共存する社会―」報告一〓菊田真司（法学部教授）「『共存』のこれまで／これから」、報告二〓黒崎浩行（神道文学部教授）「災後を生きる人々に学ぶ」、報告三〓手塚雄太（文学部助教）「共存の視角からみた渋谷の100年」、コメントーター〓高嶋修一（青山学院大学経済学部教授）、板井正斉（皇學館大学教育開発センター准教授）、デイスカッション司会〓上山和雄（國學院大學名誉教授）、古沢広祐（経済学部教授）、司会進行〓宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、平成三十年三月九日（金）十七時～二十時三十分、AMC棟一階常磐松ホール

〈研究会〉

- ・平成二十九年度共存学公開研究会「復興・伝統文化と

地域の自立性」(共催 基盤研究(C))「災害・復興と伝統文化の役割に関する学際的研究」(課題番号一七 K一二六二〇)、事例報告一〓齋藤平(皇學館大学文学部教授)「地域で伝えるということ」、事例報告二〓藤田直子(九州大学大学院芸術工学研究院准教授)「熊本地震の実態調査と南海トラフ巨大地震津波の避難分析に基づく地域の自立性と復興への指針」、事例報告三〓筒井裕(帝京大学准教授)「被災地の人々の力強さの源―漁村でのフィールドワークから」、コメント一〓滝澤克彦(長崎大学多文化社会学部准教授)、コメント二〓阿部晃成(雄勝町の雄勝地区を考える会事務局)、司会・進行〓古沢広祐(経済学部教授)、平成三十年二月二十三日(金) 十四時〓十七時三十分、一号館一〇一教室

〈出張〉

・「岩手県における東日本大震災被災地の復興に関する現地調査」、古沢広祐(経済学部教授)、茂木栄(神道文化学部教授)、黒崎浩行(神道文化学部教授)、ヘイヴンズ・ノルマン(神道文化学部教授)、高橋雄一(研究開発推進機構研究補助員)、平成二十九三十年三月十九日(月)〓二十一日(水)、岩手県沿岸地域(陸前高田市、大槌町、釜石市、大船渡市)、宮城県気仙沼市

「渋谷学」グループ

〈研究会〉

・平成二十九年度第二回渋谷学研究会「民俗芸能の舞台公演―その歴史と意義―」、報告一〓小川直之(文学部教授)「折口信夫と民俗芸能上演」、報告二〓館野太朗(大阪市立大学都市文化研究センター研究員)「民俗芸能の大正―民衆藝術・ページェント・郷土舞踊―」、報告三〓小岩秀太郎(公益財団法人全日本郷土芸能協会事務局次長)「郷土を離れてお祭り広場へ―全日本郷土芸能協会の成り立ちと現在」、コメント一〓茂木栄(神道文化学部教授)、コメント二〓大石泰夫(盛岡大学文学部教授)、平成三十年三月十五日(木) 十三時三十分〓十七時三十分、五号館五三〇一教室

平成三十年度(所属・役職は開催当時、敬称略)

▽研究開発推進センター会議

・第一回、平成三十年四月六日(金) 十五時〓十六時三十分、AMC棟五階プロジェクトルーム二
 ・第二回、平成三十年九月二十五日(火) 十四時三十分〓十五時三十分、AMC棟五階会議室〇六

▽研究開発推進センター研究会

- ・ 第一回、神杉靖嗣（研究開発推進機構客員研究員）
「松代藩士長谷川昭道の神観と皇道」、平成三十年五月十日（木） 十八時十五分～二十時、A M C 棟五階プロジェクトルーム二
- ・ 第二回、半田竜介（研究開発推進機構ポスドク研究員）
「『明治日報』と国学者・神職」、平成三十年五月二十四日（木） 十八時十五分～二十時、A M C 棟五階プロジェクトルーム二
- ・ 第三回、東郷茂彦（研究開発推進機構共同研究員）
「大祓詞の顕す国家観と『天之益人』青人草』考」、平成三十年六月二十一日（木） 十八時十五分～二十時、A M C 棟五階プロジェクトルーム二
- ・ 第四回、河村忠伸（研究開発推進機構共同研究員）
「神道青年全国協議会による大嘗祭前の大祓」、平成三十年七月十九日（木） 十八時十五分～二十時、A M C 棟五階プロジェクトルーム二
- ・ 第五回、「霧島神宮誌」執筆者会議（研究会）、平成三十年九月二十五日（火） 十八時～二十時、A M C 棟五階プロジェクトルーム二
- ・ 第六回、佐々木聖使（研究開発推進機構共同研究員）
「神道のキリスト教は、どこまで神道的なのか―海老

名弾正を例として」、平成三十年十月二十五日（木） 十八時十五分～二十時、A M C 棟五階プロジェクトルーム二

▽研究開発推進センター研究事業（北海道神宮の研究）

〈出張〉

- ・ 「北海道神宮 札幌まつり調査」、大東敬明（研究開発推進機構准教授）、平成三十年六月十五日（金）～六月十六日（土）、北海道札幌市
- ・ 「北海道神宮の研究」打合せ及び資料調査」、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、大東敬明（研究開発推進機構准教授）、平成三十年九月五日（水）、北海道札幌市（北海道神宮）

▽研究開発推進センター研究事業（霧島神宮の研究）

〈会議〉

- ・ 霧島神宮誌編纂委員会第三回全体会議、平成三十年七月三日（火）、十六時～十八時、明治記念館
 - ・ 霧島神宮誌編纂委員会第四回全体会議、平成三十年十二月三日（月）、十六時～十八時、明治記念館
- 〈出張〉
- ・ 「霧島神宮関連資料の調査」、宮本誉士（研究開発推

進機構准教授)、平成三十年十二月二十三日(日)二十五日(火)、鹿児島県霧島市(霧島神宮)、鹿児島県鹿児島市(鹿児島県立図書館)

・「霧島神宮所蔵資料の調査」、宮本誉士(研究開発推進機構准教授)、平成三十一年一月二十五日(金)二十七日(日)、鹿児島県霧島市(霧島神宮)

・「霧島神宮関係資料の調査」宮本誉士(研究開発推進機構准教授)、渡邊卓(研究開発推進機構助教)、高野裕基(研究開発推進機構助教)、平成三十一年二月七日(木)九日(土)、宮崎県宮崎市

報 彙
・「霧島神宮に関する調査・研究」上西亘(研究開発推進機構助教)、平成三十一年二月十三日(水)十四日(木)、宮崎県宮崎市

▽研究開発推進センター研究事業(伝統文化・神社・地域と共存社会の研究)

〈公開研究会〉

・平成三十年度共存学公開研究会「多文化共存をめぐる伝統と開発―中国と日本の事例から―」、個別報告一
 Ⅱ奈良雅史(北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授)「エスニック・ツーリズム開発に伴う民族間関係の変化―中国雲南省における回

族社会の事例から―」、個別報告二Ⅱ山本健太(経済学部准教授)「伝統と文化の現代的諸相―西日本における神楽舞を事例に―」、コメントⅡ黒澤直道(文学部教授)、菅浩二(神道文化学部教授)、司会進行Ⅱ古沢広祐(経済学部教授)、平成三十年十月十三日(土)十四時〜十七時三十分、AMC棟五階会議室〇六
 (國學院の学問(共存学)各回十時三十分〜十二時、二二〇三教室)

・第一回、古沢広祐(経済学部教授)「共存学がめざす地平・地域から国際・グローバル地球社会(3・11東日本大震災後の日本と世界を考える)①」、四月十一日(水)

・第二回、古沢広祐(経済学部教授)「共存学がめざす地平・地域から国際・グローバル地球社会(3・11東日本大震災後の日本と世界を考える)②」、四月十八日(水)

・第三回、黒崎浩行(神道文化学部教授)「都市生活における共存と神社の関わり―渋谷や各地での試み―」、四月二十五日(水)

・第四回、茂木栄(神道文化学部教授)「日本人は如何に神社を意味づけてきたか―鎮守の森(杜)の理念―民俗学的視点から―」、五月九日(水)

- ・第五回、茂木栄（神道文化学部教授）「川・海のめぐみと社叢」、五月十六日（水）
- ・第六回、黒澤直道（文学部教授）「中国ナシ族の過去と現在―急速な観光地化にゆれる生き様と「共存」―」、五月二十三日（水）
- ・第七回、松本久史（神道文化学部教授）「戦後の神社・神道の宗教間対話・協力から見た「共存」の可能性」、五月三十日（水）
- ・第八回、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）「和歌から近代和歌へ―「旧派」と「新派」の共存―」、六月六日（水）
- ・第九回、菅浩二（神道文化学部教授）「歴史認識」とネイション・エスニシティー日鮮同祖論と神社の歴史を切り口に―」、六月十三日（水）
- ・第十回、菅浩二（神道文化学部教授）「冥王星と宇宙葬」、六月二十日（水）
- ・第十一回、ヘイヴンズ・ノルマン（神道文化学部教授）「文化多様性と共存の行方―トランプの時代における課題―」、六月二十七日（水）
- ・第十二回、磯村早苗（法学部教授）「グローバル化時代の「共存」と越境的ガバナンス」、七月四日（水）
- ・第十三回、菊田真司（法学部教授）「共存の政治的条

件」、七月十一日（水）

- ・第十四回、高橋克秀（経済学部教授）「グローバル経済と格差問題をどう考えますか？―経済学的考察―」、七月十一日（水）

- ・第十五回、古沢広祐（経済学部教授）「多様性が織りなすグローバルとローカルの世界動向―共存社会の課題、まとめ―・授業の振り返りと課題授業」、七月十八日（水）

〈出張〉

- ・「宮城県における東日本大震災被災地に関する調査」、古沢広祐（経済学部教授）、高橋雄一（研究開発推進機構研究補助員）、平成三十年四月三十日（月）～五月三日（木）、宮城県石巻市、宮城県牡鹿郡女川町
- ・「岩手県における東日本大震災被災地に関する調査（「大槌まつり」調査）」、古沢広祐（経済学部教授）、茂木栄（神道文化学部教授）、高橋雄一（研究開発推進機構研究補助員）、平成三十年九月二十二日（土）～二十四日（月）、岩手県上閉伊郡大槌町

▽国際学術交流事業（國學院大學院友神職会奨学資金）
 〈アメリカ合衆国・ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所客員研究員派遣〉

・武田幸也(研究開発推進機構助教、平成二十九年四月)

▽外部研究機関との共催研究事業

・第二十回神道文化会公開講演会「鏡と神道文化」(共催Ⅱ 國學院大學研究開発推進センター)、講演ⅠⅡ 笹生衛(神道文化学部教授)「古代祭祀と鏡―考古学の視点から」、講演ⅡⅡ 松本丘(皇學館大学文学部教授)「神道思想における鏡」、ミニシンポジウムコメントⅠⅡ 藤澤紫(文学部教授)、司会Ⅱ 藤本頼生(神道文化学部准教授)、平成三十年六月十六日(土) 十三時～十六時三十分、A M C棟一階常磐松ホール

報 彙

・明治聖徳記念学会公開シンポジウム「平田国学の幕末維新」(共催Ⅱ 國學院大學研究開発推進センター)、第一部基調講演Ⅱ 宮地正人(東京大学名誉教授)「平田国学の幕末維新」、第二部シンポジウム、発題ⅠⅡ 遠藤潤(神道文化学部教授)「宗教史から見た幕末維新期の平田国学」、発題ⅡⅡ 三ツ松誠(佐賀大学地域学歴史文化研究センター講師)「佐賀藩の国学・神学」、コメントⅠⅡ 阪本是丸(神道文化学部教授)、司会Ⅱ 松本久史(神道文化学部教授)、平成三十年七月十四日(土) 十三時三十分～十七時三十分、明治神宮参集殿

▽國學院大學院友神職会総会研究報告会

・渡邊卓(研究開発推進機構助教)「『古事記』の儀礼の性格」、平成三十年十月二十四日(水) 十八時十五分～十八時四十五分、五号館五二〇一教室

▽成果公開

〈刊行物〉

・『都市民俗研究』第二十四号、平成三十一年二月
 ・『ブックレット 渋谷学01』、平成三十一年二月
 ・『國學院大學研究開発推進センター研究紀要』第十三号、平成三十一年三月